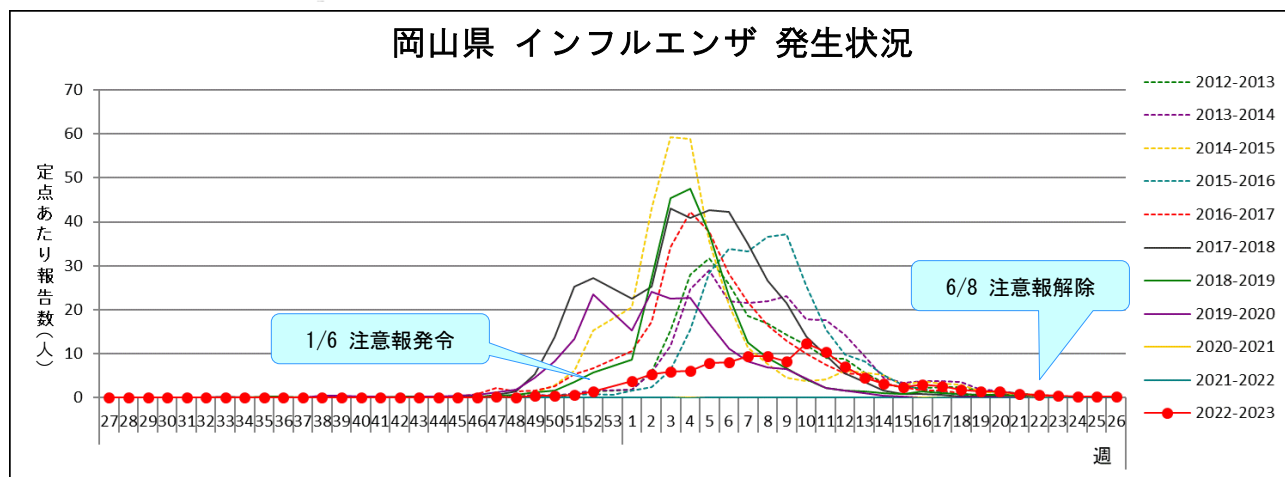


岡山県 インフルエンザ発生状況

(2022/23 年シーズンのまとめ)



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

2022/23 年シーズン(2022/9/5~2023/9/3)のうち、2023 年 7 月 2 日までの岡山県におけるインフルエンザの発生動向をまとめました(県内 84 定点医療機関報告)。

今シーズン、岡山県の患者報告数は、10,062 人であり、注意報発令のなかった 2 シーズン(2020/21 年および 2021/22 年シーズン)後、3 年ぶりに流行をみました。過去 10 シーズンでは 3 番目に少ない報告数でした。

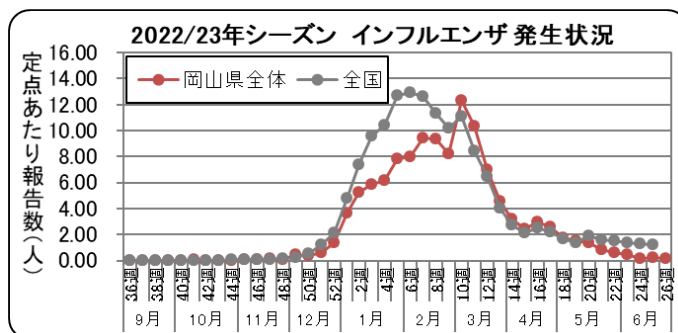
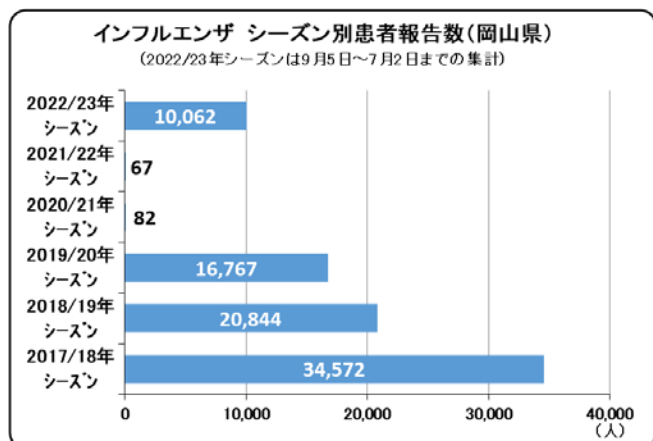
今シーズンは初週の 2022 年第 36 週(9/5~9/11)以降、散発的な患者の発生が継続しました。

第 52 週(12/26~1/1)には定点あたり 1.35 人となり、岡山県の注意報発令基準である定点あたり 1.00 人を上回ったことから、1 月 6 日に「インフルエンザ注意報」を発令しました(2019 年 11 月以来 3 シーズンぶり)。過去 10 シーズンと比較すると、6 番目の早さで流行期に入り、その後、流行が徐々に拡大しました。

最も患者報告数が多かったのは、2023 年第 10 週(3/6~3/12)の 1,037 人(定点あたり 12.35 人)でした。以降、警報発令基準の 30.00 人を超過することなく患者数は減少に転じました。注意報発令シーズンのうち、警報発令に至らなかったのは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行が始まった 2019/20 年シーズン(その前は 2010/11 年シーズン)に続いてとなります。

その後、第 21 週(5/22~5/28)には 0.87 人、第 22 週(5/29~6/4)には 0.57 人と、2 週連続して定点あたり 1.00 人を下回ったため、県内に発令していた「インフルエンザ注意報」を 6 月 8 日をもって解除しました。

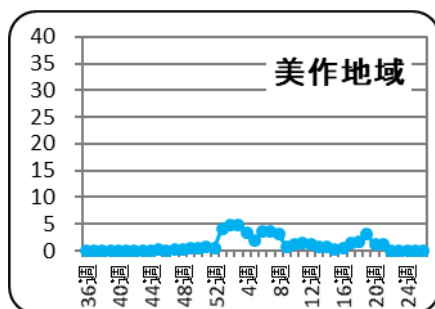
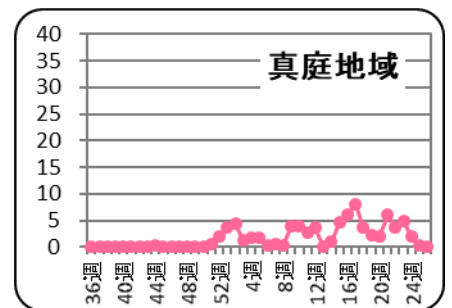
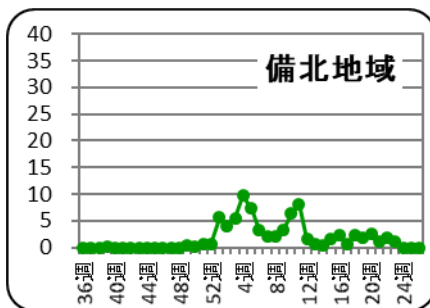
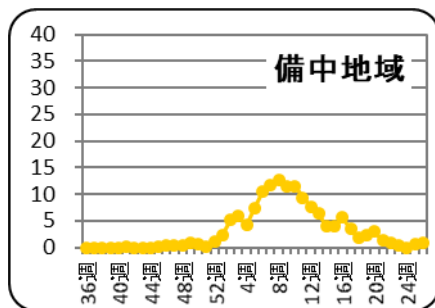
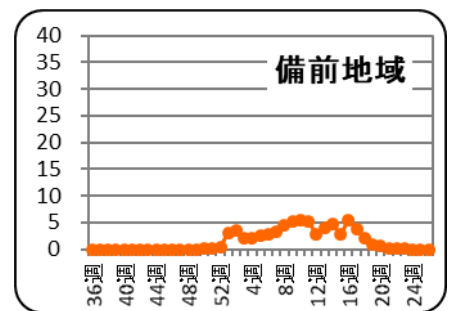
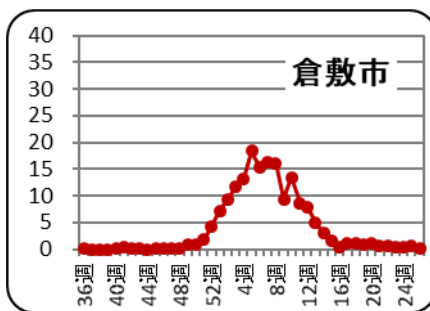
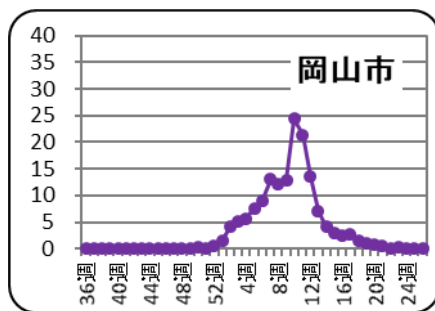
全国では、第 51 週(12/19~12/25)に定点あたり 1.24 人となり、全国的な流行の指標である 1.00 人を上回ったため、流行シーズンに入りました。その後、第 6 週(2/6~2/12)に 12.94 人となり、流行のピークを迎えました。以降、患者数は若干の増減をしながら減少し、第 25 週(6/19~6/25)には定点あたり 1.20 人(2023 年 6 月 28 日現在)まで減少しました。



※インフルエンザシーズンは、第 36 週から翌年第 35 週までを 1 シーズンとして集計しています。

1. 地域別発生状況

地域別で見ると、2022 年第 36 週(9/5～9/11)から散発的に患者が報告され、全県的に流行が拡大していきました。第 52 週(12/26～1/1)には、流行開始の指標値(定点あたり 1.00 人)を超え(1.35 人)、県内全域で流行期に入りました。その後、患者は増加を続け、各地域のピーク時の定点あたり報告数は、岡山市 24.45 人(第 10 週)、倉敷市 18.44 人(第 5 週)、備前地域 5.53 人(第 16 週)、備中地域 12.67 人(第 8 週)、備北地域 9.67 人(第 4 週)、真庭地域 8.00 人(第 17 週)、美作地域 4.90 人(第 2 週および第 3 週)でした。各地域でピーク時期にばらつきはあったものの、増減を繰り返しながら減少しました。



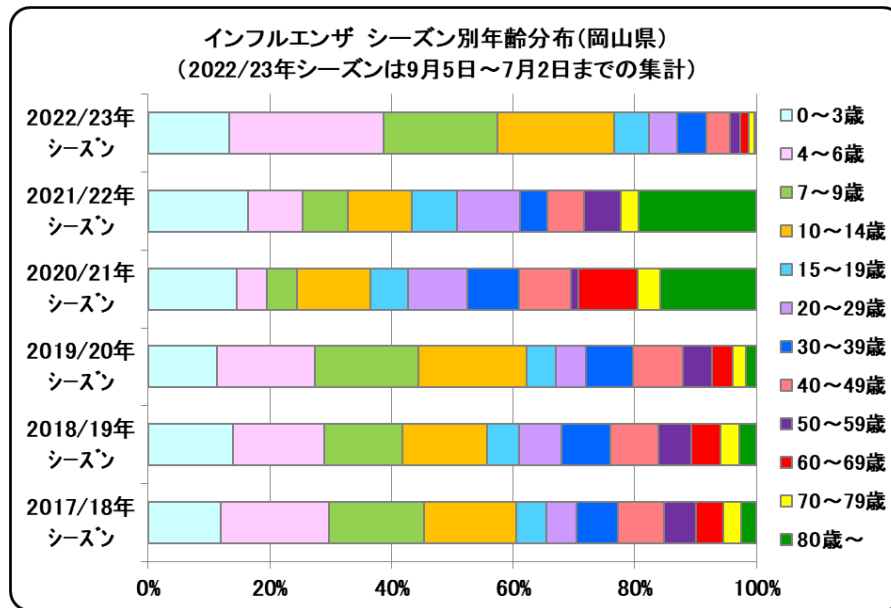
※感染症発生動向調査は、岡山県を7つのブロックに分けて情報収集しています。



- ・岡山市
- ・倉敷市
- ・備前地域(オレンジ)
- ・備中地域(黄)
- ・備北地域(緑)
- ・真庭地域(ピンク)
- ・美作地域(青)

2. 年齢別発生状況

年齢別割合は、4～6 歳 (25.5%)、10～14 歳 (19.1%)、7～9 歳 (18.7%)、0～3 歳 (13.3%) の順で多くなりました。過去の流行シーズンと比較して、4～6 歳の年齢層の割合が増加しました。



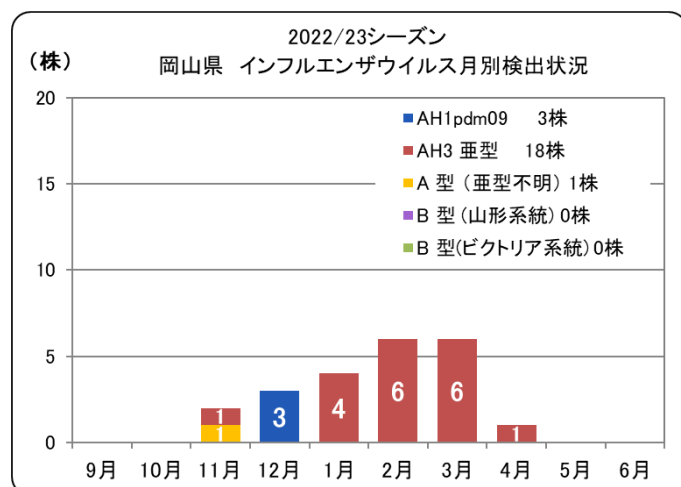
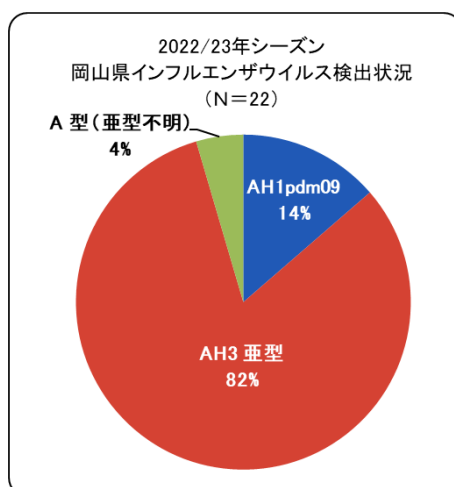
3. インフルエンザウイルス検出状況

今シーズンのうち、2023 年 7 月 2 日までに岡山県環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルス 22 株の内訳は、AH3 亜型が 18 株 (82%) で最も多く、次いで AH1pdm09 が 3 株 (14%)、A 型 (亜型不明) が 1 株 (4%) でした。今シーズンは、AH3 亜型が主流でした。

月別検出状況は、11 月から検出されはじめ、1 月からは AH3 亜型のみ検出が見られました。なお、12 月の AH1pdm09 の検出 3 株は同一の集団感染事例における検体です。

全国で今シーズン検出されたインフルエンザウイルスは、AH3 亜型 2,722 株 (93.7%)、AH1pdm09 75 株 (2.6%)、B 型 73 株 [ビクトリア系統 71 株、山形系統 0 株、系統不明 2 株] (2.5%)、C 型 26 株 (0.9%)、A 型亜型不明 9 株 (0.3%) の順でした。今シーズンは、AH3 亜型がシーズンを通して主流となりました (2023 年 7 月 4 日現在)。

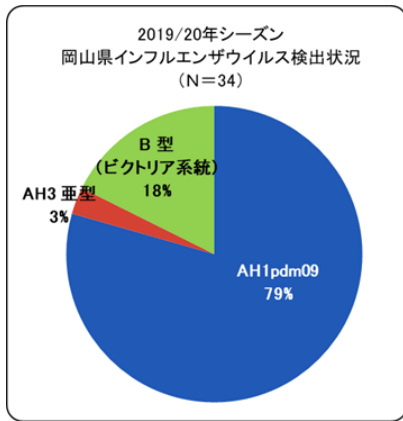
【2022/23 年シーズン】



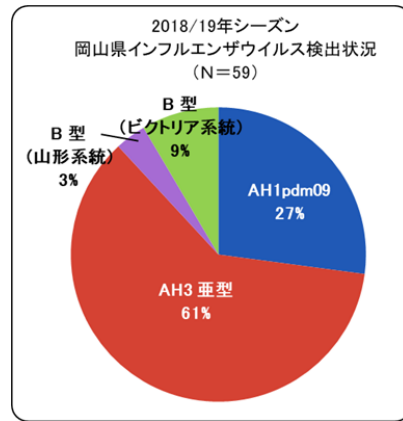
【2021/22 年シーズンおよび 2020/21 年シーズン】

岡山県環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。

【2019/20 年シーズン】

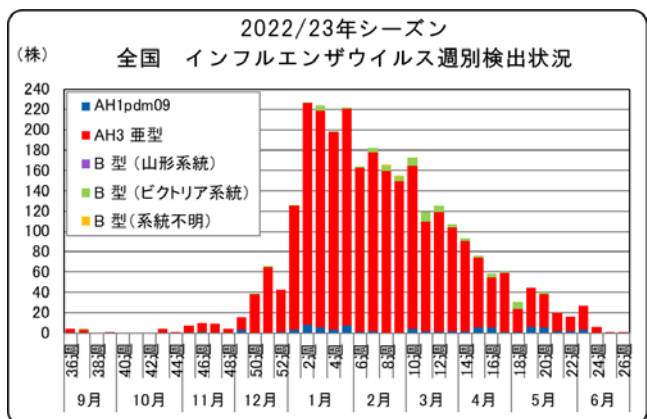
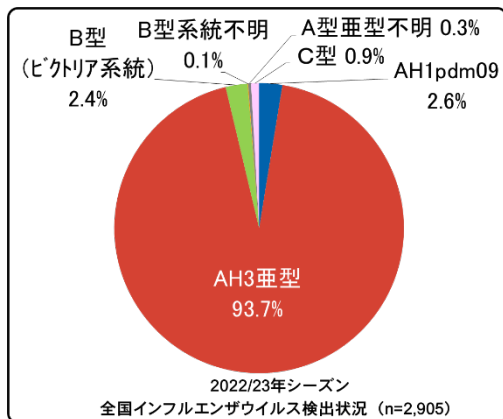


【2018/19 年シーズン】

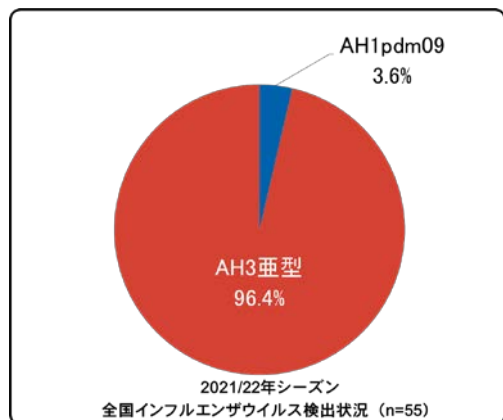


<全国のインフルエンザウイルス検出状況>

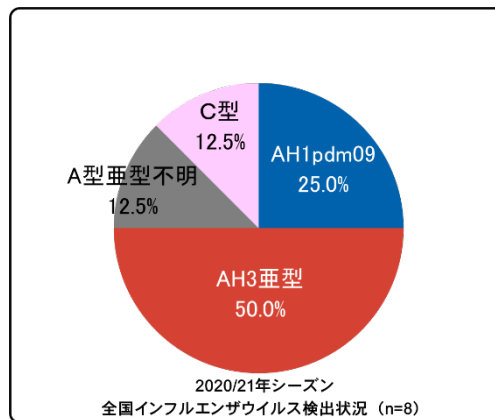
【2022/23 年シーズン】



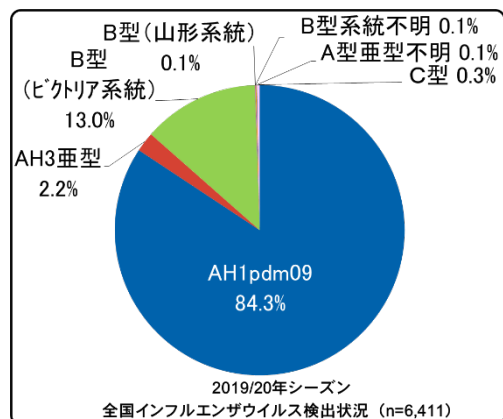
【2021/22 年シーズン】



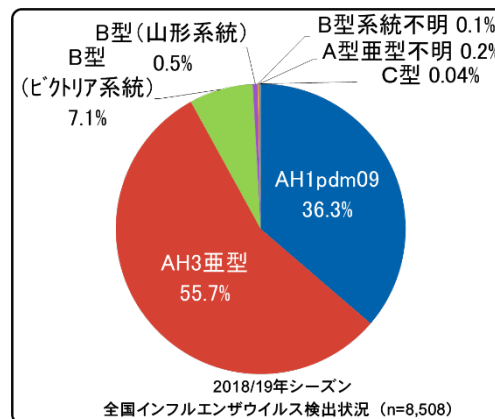
【2020/21 年シーズン】



【2019/20 年シーズン】

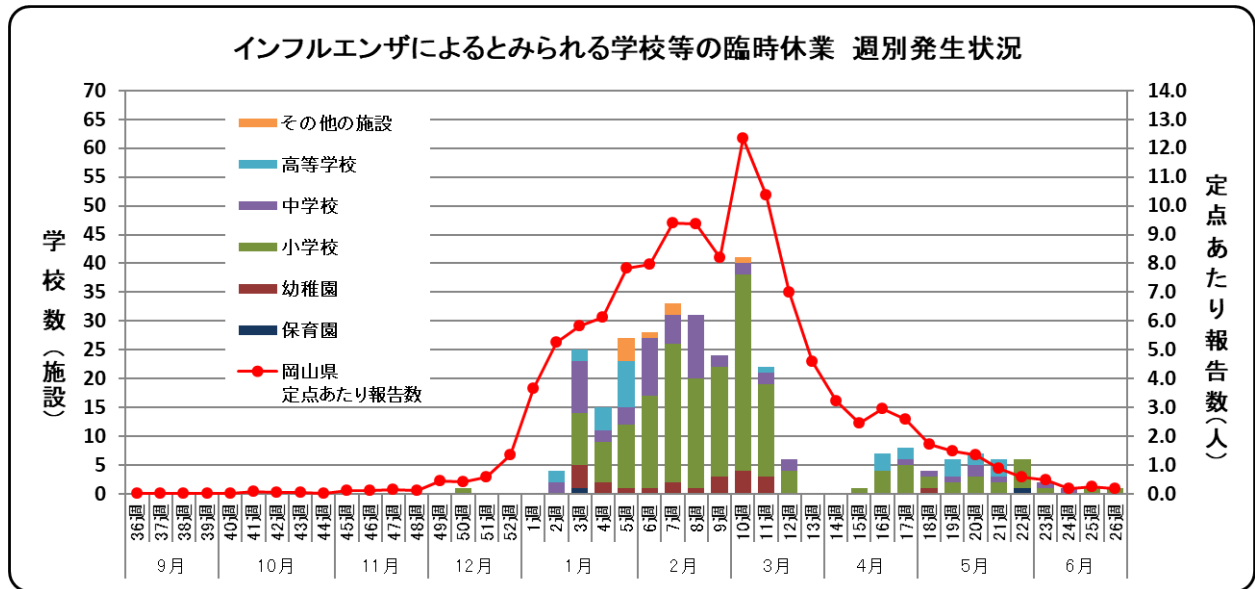


【2018/19 年シーズン】



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

今シーズンのうち、2023 年 7 月 2 日までのインフルエンザによるとみられる臨時休業は 307 施設で、2019/20 年シーズン(555 施設)以来 3 シーズンぶりに発生がありました。施設別では、保育園 2 施設、幼稚園 22 施設、小学校 187 施設、中学校 58 施設、高等学校 30 施設、その他 8 施設でした。初発は 2022 年 12 月 12 日で、2019/20 年シーズン(9 月 30 日)よりも遅い時期の報告となり、今シーズンのピークには 1 週間に 41 施設の報告がありました。



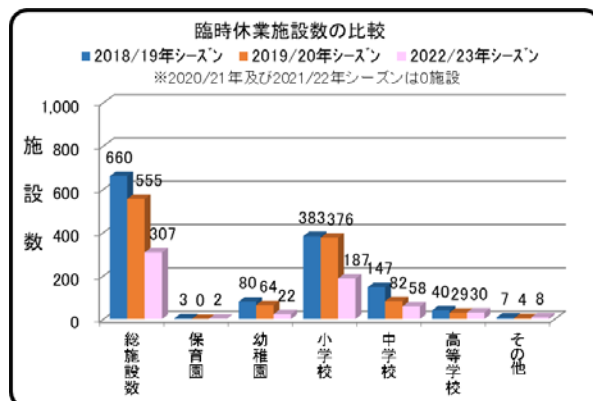
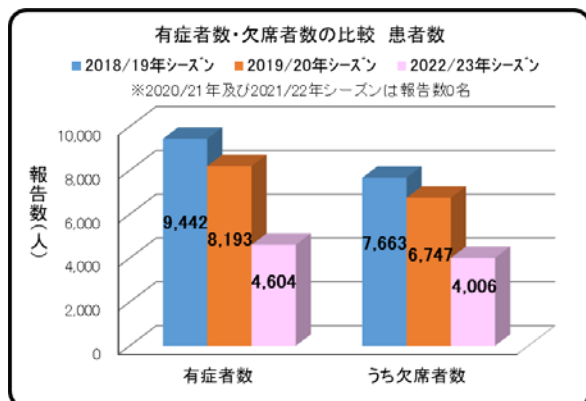
1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています

地域名*	有症者数	うち欠席者数	施設数合計	休園・休校	学年閉鎖	学級閉鎖	初発年月日
岡山県全体	4,604	4,006	307	6	60	241	R4.12.12
岡山市	1,935	1,710	120	1	8	111	R4.12.12
倉敷市	1,097	955	77	1	8	68	R5.1.16
備前地域	290	257	26	1	10	15	R5.1.23
備中地域	813	678	46	1	14	31	R5.1.17
備北地域	37	34	3	0	1	2	R5.2.13
真庭地域	239	213	15	2	8	5	R5.3.6
美作地域	193	159	20	0	11	9	R5.1.17

2) 臨時休業施設数の内訳 累計:307 施設

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他
施設数	2	22	187	58	30	8



5. インフルエンザによる入院患者報告数(県内基幹定点 5医療機関による報告)

今シーズンのうち、2023 年 7 月 2 日までのインフルエンザによる入院患者数は、32 名であり、2019/20 年シーズン(136 名)以来 3 シーズンぶりに 10 名以上となりました(2020/21 年シーズン 2 名、2021/2022 年シーズン 1 名)が、例年の流行シーズンに比べ、少数に留まりました。週別では、第 2 週(1/9～1/15)に入院患者数が今シーズン最多の 5 名となりました。今シーズンの 70 歳以上の入院患者数は、3 名であり、入院患者数全体の 9%を占めました。また、今シーズンのインフルエンザ脳症(第 5 類感染症の全数把握対象疾患である急性脳炎の届出において、病原体としてインフルエンザウイルスの記載があるもの)の報告は、岡山県では今シーズンは 2 名(2017/18 年シーズン:4 名、2018/19 年シーズン:3 名、2019/20 年シーズン:6 名、2020/21 年シーズン:0 名、2021/22 年シーズン:0 名)と、例年の流行シーズンと比較してやや少ない報告数でした。全国では、インフルエンザ脳症の報告は 36 例の報告があり、例年の流行シーズンと比較して少ない報告数でした(2018/19 年シーズン:231 名、2019/20 年シーズン:255 名、2020/21 年シーズン:0 名、2021/22 年シーズン:1 名)。

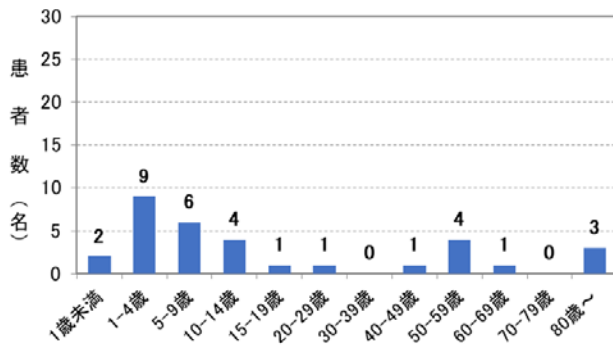
岡山県では今シーズンのインフルエンザ脳症はすべてインフルエンザ A 型を病原体とするものであり、全国においても、インフルエンザ A 型を病原体とするものが 86%を占めていました。

【2022/23 年シーズン(2022 年 9 月 5 日～2023 年 7 月 2 日)までの入院した患者の累計数】

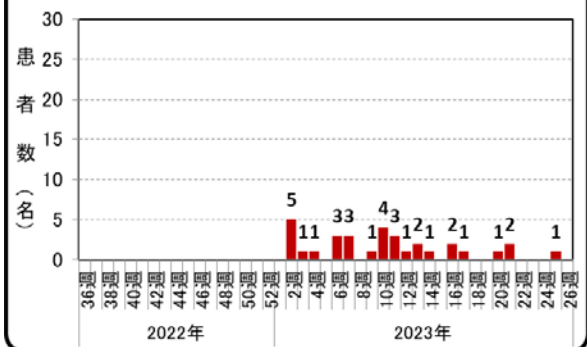
年 齢	1 歳 未満	1～4 歳	5～9 歳	10～ 14 歳	15～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70～ 79 歳	80 歳 以上	計*
入院患者数	2	9	6	4	1	1		1	4	1		3	32
ICU 入室									1				1
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)									1				1
頭部 MRI 検査(予定含)		4	4	1									9
脳波検査(予定含)		1	1										2
いずれにも該当せず	2	5	2	3	1	1		1	2	1		3	21

* 重複あり

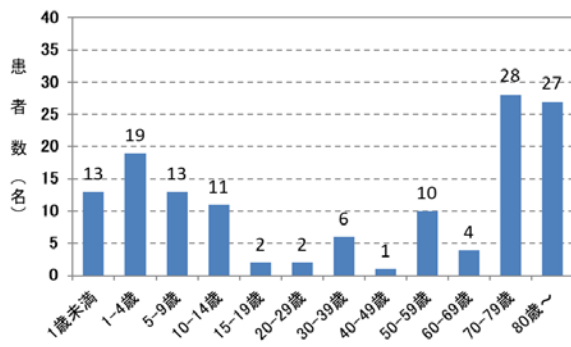
2022/23年シーズン 年齢別入院患者数



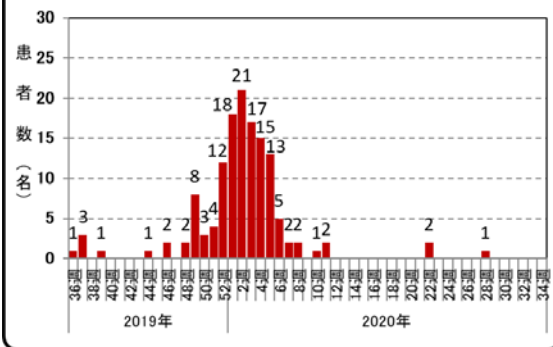
2022/23年シーズン 週別入院患者数の推移



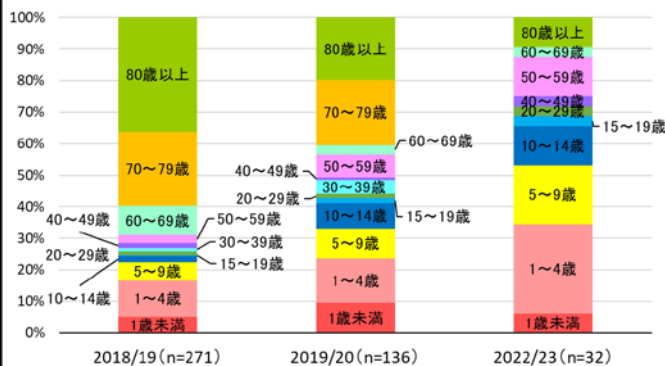
2019/20年シーズン 年齢別入院患者数



2019/20年シーズン 週別入院患者数の推移



インフルエンザによる入院患者の年齢階級別比較



シーズン別インフルエンザ脳症報告数推移(全国)

